

2020年11月30日

報道関係各位

南海電気鉄道株式会社

新たな公共交通 BRTの共同研究スタート

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北光彦）は、既存のバスに加えてBRTの導入がIR誘致実現時の交通輸送等の諸課題への対応に有効であるとの提案を和歌山市に対して行い、このたび、和歌山市と連携して、その実現性についての検討を進めていくこととし、共同研究会をスタートいたします。

共同研究については別紙のとおりです。

別紙

新たな公共交通 BRT共同研究 共同記者会見



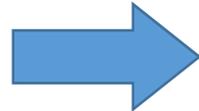
和歌山市
南海電気鉄道(株)

新たな公共交通BRTの共同研究について

◎期待する効果

○持続可能な公共交通ネットワークの構築

- ・ 基幹的公共交通軸の構築、活性化
- ・ 運行の効率化を図り、支線交通を維持
- ・ 基幹、支線、地域内交通のネットワーク化

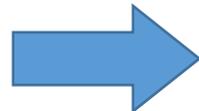


和歌山市全体の公共交通の利便性が向上



○観光振興やにぎわい創出

- ・ 主要駅から観光地までをつなぐ交通手段の強化
- ・ 観光地のアクセス性や魅力の向上
- ・ ラストワンマイルの対応



観光地への新たな誘客
まちなか回遊性の向上

新たな公共交通BRTの共同研究について

BRT(バス ラピッド トランジット)



新潟市のBRT



岐阜市のBRT

概要

BRT：連節バス、PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムのこと。

（国土交通省ホームページより抜粋）

特徴

○大量輸送が可能

- ・連節バスの導入
- ・定員約130人/台(岐阜市のBRT)

○定時性や速達性が確保

- ・専用レーンや優先レーンの整備
- ・PTPSによる信号制御の導入

新たな公共交通BRTの共同研究について

◎連節バスの試走について

- ・ 目的
交差点等の道路改良の必要性や
既存交通への影響等の検討
- ・ 試走時期
令和2年度内
- ・ 試走ルート
JR和歌山駅・南海和歌山市駅・
マリーナシティを結ぶルートを検討中
- ・ 試走車
南海バス（株）が関西空港内で
運行している連節バスを使用

